

# くろつち便り

目次

共助会講演(8/23)／野草折々62(へりがう)／  
Series学校現場から⑰／盆栽菊との出会い／  
／金曜集会(9/1)／くろつちGG大会(10/8)／  
目標達成！県民投票請求署名運動／  
独り言⑭／ **次回の金曜集会は10/6日/17:30～**



↑会報QRコード

## 老朽原発廃炉！

8月は台風の影響で金曜集会だけでなく原爆祈念集会も実施できませんでした。9月1日、雨こそ降らなかったものの空がすっきりせず、風もいくらか強く、台風の余波を感じました。

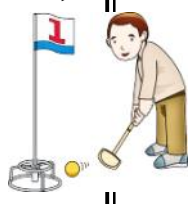


・政府は国民を騙している。日本はアメリカに尻尾を振って、言いなりになっている。

この方、樋脇さんは確か去年の国葬反対の頃から私たちの運動に参加して下さっています。マイクを手に、腹の底からの怒りを、心に響く言葉で端的に訴えます。(樋脇さんは7月の九条の会講演会で講師片野裕之氏の話を中心にスマホで録画されていました)  
次回の集会は、**10月6日、17:30**からです。(11月からは、17時から)

## くろつち会GG大会

○日時 10月8日(日)  
受付8:30 開会9:00  
※予備日10月15日(日)  
○所 **かのやグラウンドゴルフ場**  
Dコース (電話42-3222)  
○参加料 一人**300円**  
○賞 順位賞5位まで  
BB賞  
ホールインワン賞  
○参加申込方法  
必切 10月1日(日)  
(必切間近です、すぐに電話を)  
FAX・電話等で申込んで下さい  
TEL・Fax 40-2375 矢野務  
携帯090-5736-6677



そんな中、少人数ではありましたが集会を実施、反原発や鹿屋の米軍基地化反対等を訴え



学校現場から  
シリース 寿北小  
関下俊郎

2学期が始まった。夏休みの作品整理もままならない中、早速運動会の練習も始まった。まだまだ残暑が厳しいので運動会練習は、子どもたちだけでなく私たちの体力も消耗する。再任用には特にその疲れがどっこのしかかる。しかし、この時期の練習にはもつと違ふ意味での問題がある。毎回係が測定する「暑さ指数」というものだ。気温と湿度を測定し双方の数値が高くなると、「運動危険レベル」ということで必然的に運動会の練習が思うようにできなくなる。どの学年も木陰での休憩や水分補給を頻繁にとりながら実施している。(もし、運動会当日「運動危険レベル」



のだろうか?)  
昼休み、ちよつと一息つきたい時間だが「先生、遊ぼう!」と誘われる。鬼ごっこならだいたいが私が鬼にさせられて、逃げ回る子どもたちを時間がある限り追いかけるければならない。この日は、「一輪車に乗れるようになったから見に来て!」という誘いだつたので気楽だつた。4月の頃は一輪車のペダルに足をかけるのができなかった子どもが、いつの間にかすいすい乗れるようになっていた。子どもたちの「未知の力」には驚かされる。

まだ時間があつたので、池のほとりの“茅”をとって飛ばして見せた。1回、2回、3回...と飛ばしているとあつたう間に周りには子どもたちが集まってきていた。  
そんな子どもの1人にとでも上手な女の子がいた。「上手だね。」と言うと、「だって、じいちゃんから教えてもらったよ。」...となるほど祖父の教えかと納得した。  
大黒小では“茅”探しに苦労しなかったのにと思っていたが、周りをよく見てみると“茅”があつたのだ。目の前の「県プラ」の敷地には生垣の中から立派な“茅”がいっぱい伸びていた。後日、子ども31人引き連れて遊びに出かけた。



# 教育講演会を終えて

共助会肝属地区事務局 矢野務



教職員共助会肝属地区運営委員会は、これまで20年余り夏休みに教育講演会を実施してきました。途中から曾於地区運営委員会と合同開催で毎回実行委員会を立ち上げ、共助会会員はもちろん会員でない方も含め講演会への参加をお願いしております。

「ストレスマネジメント教育」  
「ストレスへの対処法を学ぶ」

今回は鹿屋市教育委員会の後援をもらい、大隅地区の各市町教育長宛に講演会当日に市町の関わる行事と重ならないよう協力依頼しました。現職の皆さんが参加しやすい環境が出来て、参加が増えるのではと期待したのですが、結果は例年並みの100名そこそこでした。ちなみに、これまでの講演会で最も参

加が多かったのは、2009年、東地区学習センターでの230名でした。心理カウンセラーの「今、学校に求められるもの」がその時の演題でした。

教育現場の過酷な残業、多忙化の中で、ストレスを抱える教職員、児童生徒が多いのではないかと、今回は「ストレスへの対処を学ぶ」として専門の先生に講演してもらいました。良いストレスと悪いストレス、からだのストレスとこころのストレスなど具体的にあげて、それらへの対処について2時間ほどの講演会でした。

参加者の感想の一部を紹介します。「タイムリーで良かった。子どもだけでなく、大人



にとってもストレスとどう付き合うか、具体的な対処法まで紹介してもらい、とっても参考になった。」「仕事の量、人間関係など、自分自身こころとからだをコントロールし守るための対処法は私にとってプラスとなった。今後の教員生活に役立てたい。」「良い勉強になった。昔を思い出した。79歳の私より、現職に多く参加してほしい。この講演を基にして、現場では研修を深めてほしい。」

## 今後の共助会行事

### 第21回ボウリング大会

10月27日(金)  
笠之原ボウリングセンター  
受付18:00~18:30  
競技18:45~20:15

### 第19回グラウンドゴルフ大会

2月11日(日)  
予備日 18日  
かのやGG場Dコース  
13:00~15:00  
(受付12:30~)

料理教室については今後、実施するかどうかも含めて検討。



果実

## 野草折々-62-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

### ヘクソカツラ (アカネ科)



葉を揉むと、屁・糞に劣らぬ臭いを発する。

霜焼け等に、この果実をすり潰してつける。

写真 川西町 花2011, 8, 30  
(左上) 果実2011, 12, 10

## 目標達成・川内原発20年延長使用 県民投票請求署名運動

松下 徳二

活動説明、活動依頼、活動開始後の2か月間、多くの個人、政党や団体、組合関係など多方面に依頼された未記入の署名簿を何冊準備して取り組みを始められたのでしょうか。中心となられた方々の強い意志、闘いに心から敬意を表し、3万筆を大きく超える目標達成を心から感謝します。

8月5日、午前10時、鹿屋市選挙管理委員会に鹿屋市民だけが署名した署名簿を提出。（県下各自治体ごとに署名簿提出）。机の上に置かれた署名簿は30センチほどの高さには達していましたが、2人の係の方が1冊1冊記入者数を確認。誤記などを除いて1,678筆が承認されました。

こうして各地で確認承認された人数は8月8日の新聞によると、県内有権者の50分の1に当たる26,475人以上が必要だったのですが、昨日時点で50,290筆。目標を大きく上回りました。老朽原発は危ない、40年使用の約束は守れとの県民の願い・要求が予想以上にはっきりと示されたこととなります。

署名収集に頑張っ



てくださった皆さん本当にお疲れさまでした。係になった感じでしたのでこの場で心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後この圧倒的な県民の声を県議会がどう判断し、どんな行動に結びつけるのか、問題はこれからです。

すでに40年を超えて稼働中の原発はいくつか

あるようですが、現地では反対運動が続いています。私たちの闘いもまだまだ続きます。覚悟新たに次の闘いに備えましょう。

宇宙・地球・生き物に優しいエネルギー問題についてはこれからも深く関心を持ち、子々孫々に安心安全な宇宙を、地球を、私たちの社会を譲っていけるようにしましょう。

（私もくろつちの皆さん、中学時代の同級生、昔の担任生徒、星塚敬愛園の数人の方々、

親戚、何より町内会の皆さん（=40人）等々精一杯お願いし、快いご協力をいただきました。深く感謝しながら、このこと

を今後の生活にも生かしたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。）。原発署名報告（後日の点検・調査で、鹿屋市に報告されていた署名数が、70人くらい2回署名等のため失格？でした。松下のも失敗ありでした。)

（なお、「南九州新聞への意見広告の取り組み」、厳しい条件もありでしたが、ご協力本当にありがとうございました。2004年9条の会結成来の取り組みです。今後も継続していきたいと考えています。今後の取り組みについてなどご指導・ご意見ください）。

（さらに…。鹿屋の自衛隊基地内でのMQ9の事故をめぐる訳の分からない報道が飛び交っています。ほんのちょっ



とした事故だと思っていましたが、米軍の対応、九州防衛局等の在り方などあまりに不可解。これまで鹿屋基地でのMQ9の在り方に多くの疑問ありですので改めて抗議集会を持ちたいと考えています。いかがでしょうか。ご意見ください）。



# 盆栽菊との出会い

上 蘭 紀 男



菊は8、9世紀頃、中国より日本に伝えられた。桃山時代に、白色の花だけの菊に黄色や桃色と言った新しい色が生まれた。今日に見られる日本独自の多くの品種が生まれてきたのだそうです。

日本の菊はヨーロッパでも高い評価を得ているそうです。

私が盆栽菊と出会ったのは、くろつち会の展示発表会でした。川西町にお住まいの、福岡三義様の作品を見て、この様な菊は俺にはできないだろうな一と思いつつ、相談に行きました。そうしたら串良の豊重さん宅で研修会を開いているよ、ということで教わることになりました。月一で3年くらい通いました。

しかし、何かの都合で研修会がなくなりました。

しばらくして、昨年11月に熊本の青井神社になにげなく足を運びましたらそこに大菊、中菊、小菊、盆栽菊が展示してありました。その数の多さ、きれいさに圧倒されました。これはなんとかならんかとの思いが・・・

後日、神社に電話を入れましたら、菊の出展会のグループ(18名)を紹介していただき、現在月一で研修会に参加しています。

人吉のあさぎりという町です。グループ内の話は方言が聞きづらく、分かりにくいので苦労しています。鹿児島弁も聞きづらいのであろうと・・・

4月から研修会に参加して間もないですが、大変貴重な経験をつましてもらっています。

ご存知かも知れませんが、菊は1年中世話をしなければならぬのですが(冬は無い)花が咲いたときは、1年の苦労がひっとびます。

現在、私が育てているのは盆栽菊です。毎日が子育てみたいに充実しています。11月の開花期まで、気の抜けない日々が続きますが、盆栽菊の良さは、私のようなズボラな者でも可能だということです。その点、大菊は難しいので、本格的にやっていません。

盆栽菊は病気に強く、虫からもあまりやられません。ほつたらかしても、乾燥に強く、時期になれば綺麗な菊が必ず咲きます。

はなたれ小僧も、時期になれば、女はきれいになるし、男はたくましくなりますので、どこか人間と似ているのかも知れません。



## ぶっくさ言うん ござれつこの世信 24

◆福田村事件と「難死」  
「福田村事件」というものを8/30のNHKクローズアップ現代で初めて知った。関東大震災で多くの朝鮮人が流言飛語で虐殺されたが、千葉県福田村では日本人が朝鮮人に間違えられ殺害されたという。その事件を背景に製作された映画(森達也監督)では、なぜ集団はパニックに陥り

残虐な行為は起きたのかを考えさせるといふ。

また同番組では、追悼式典に追悼文は出さないという小池都知事の対応も流れた。

「九条の会」の発起人でもある小田実の造語「難死」という言葉を想起した。小田は「公状況(大義名分)」の前に押しつぶされた「無意味な死」「虫ケラどもの死」を「難死」と表現している(小田実「『難死』の思想」1965初出)。

小田は「大東亜戦争」のことを論じ、「公状況(「天皇陛下

のため、お国のため)」の美名の下、「私状況(私的事情、人権、自由・・・)」を押しつぶしたというようなことを述べている。また、その美名も戦後は無意味なものだったと評価され、美名を叫びながら死んでいった兵士たちの死(「散華」など名誉の死)も結局は、名もなき一般市民の死と同様、「難死=無意味な死」であったことも読み取れる。

先の朝鮮人虐殺問題や「福田村事件」でも同じことが言える。大震災では多くの死者が

出たが、町や村を朝鮮人から守るといふ「公状況」により殺された人々の死は「難死」であって、天災による死とは性質が全く異なる。しかし都知事の発言は、それらを一緒くたにしているのだ。

話は変わるが、日米軍事訓練(奄美でのオリエン特・シールド、霧島演習場でのレゾリュート・ドラゴン)などでよく言われる中国脅威論は、小田の言う「公状況」であり、それに振り回されている姿は福田村事件の構図と何ら変わらない。(樋園)

